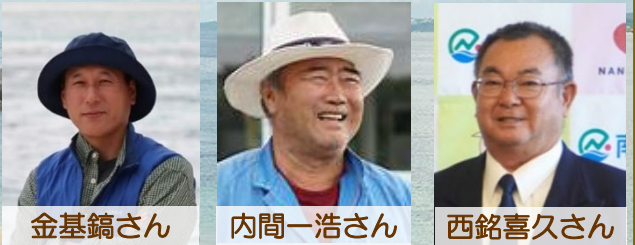


# 自然と伝統と生活を守るスマートアイランド～久高島の取組～

沖縄県南城市久高島は、琉球開闢（かいびゃく）の神アマミキヨが降り立った「神の島」とされ、古来の伝統が今でも引き継がれています。大規模な開発はおこなわれておらず、昔ながらの雰囲気と惹かれ毎年多くの観光客が島を訪れています。そんな久高島でのスマートシティ(スマートアイランド)に取り組みみなさまにお話しをうかがいました。

[ご協力いただいたみなさま]  
株式会社テクノ・スクエア 金基鎬さん  
久高島自治会 内間一浩さん  
一般社団法人くだか島建て会 西銘喜久さん



画像引用：https://kudaka-island.com/#top\_notes

## 島のスマート化の第一歩

内閣府 金さんが久高島での取組に携わるようになったのは、どのようなきっかけがあったからなのでしょう？

金さん 久高島の自治会では以前から「入島協力金<sup>\*1</sup>」の導入を検討しており弊社からITソリューションを提案しました。あわせて総務省のスマートシティ関連事業への申請も提案し昨年度「島OS<sup>\*2</sup>」による情報共有等の実証事業「スマートアイランド」事業を久高島自治会と協力して実施しました。今年度も引き続き島のスマート化に携わっています。

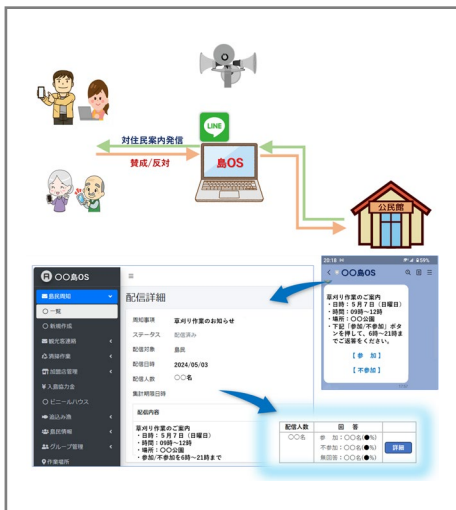
内閣府 スマート化を進めていく中でユーザーからの声が気になると思いますが、導入後の評判はいかがですか？

金さん おかげさまで入島協力金のシステムは島民のみなさまからとても助かる、島OSについては観光客のみなさまからも便利だと好評をいただいています。

※1 訪問者からの寄付金で地域の環境保全等に使われる。他の離島でも同様の制度がある。  
※2 テクノ・スクエアの開発したLINEをベースとした情報共有ツール



入島協力金の募金箱。人が近づくとセンサーで検知し音声が出る。QRコード決済も可能。多くの観光客が趣旨に賛同し協力している。



島OS通知画面。島民へは自治会での意見集約、行事の出欠連絡、観光客へは観光スポットマップの提供、伝統行事開催の周知等に活用される。

内閣府 入島協力金はどのようなことに使っていますか？

内間さん 現状は道の草刈りやごみの分別の費用に活用しています。舗装されていない道が多く雑草を放置するとすぐに道が狭まってしまうんです(笑)。自然保護の観点から海岸の漂着ごみの回収費用にも活用したいのですが、現状はドローンによってごみを確認し、回収はボランティアの方々に協力してもらっています。入島協力金も含めた島の収益では、大量のごみ回収には市の支援がいまだ必要な状態です。

内閣府 都市OSではどのような情報を発信していますか？

金さん 公民館から島民に案内放送をスピーカーで行っているが、海風などで行き届かない場合が多いです。島OS導入と共にラインにも発信し、島民はライン上で、「賛成/反対」「参加/不参加」など意思表示が可能となりました。公民館ではその集計が自動にできて、自治会行政の効率化を実現しました。将来はスピーカーのメンテナンス費の節減につながると期待しております。

## 島の「自立」をめざして

内閣府 海岸のチェックにドローンを活用されているんですね。

金さん 全ての海岸に行けるようには道が整備されていないのが現状です。また島民の高齢化も進んでおり足腰の負担にならないよう、ドローンでチェックすることにしました。また夏のボーナスとも呼ばれる「スク※3」の追い込み漁でも魚群の探索にドローンを活用すべく実証を進めています。

内閣府 若者向けの取組はどんなものがあるのでしょうか。

西銘さん 進学のため子どもたちは中学校卒業後に島外へ出て行ってしまうのですが、大人になってから帰ってきてくれる子は少なく人口減少につながっています。それは暮らしの不便さもありますが、島には仕事がないことも要因と考えています。そこでスマート農業技術によって未経験者でも作物の栽培を可能として帰島者の受け皿にできないか、実証を進めています。

※3 アイゴの稚魚。塩辛にして島豆腐と一緒に食べる「スクガラス豆腐」が有名



ドローンを活用した海岸線の調査中に撮影した漂着ごみ。久高島周辺はウミガメも生息しており、生態系への影響が懸念される。



スマート農業技術で特産品化をめざすマクワウリ。生育条件をコントロールすることで糖度を高めて高付加価値化を目指している。

内間さん 久高島ではスマート化に反対する人はあまりいませんが、やはり高齢者ほどIT機器の操作は難しくなりますね。

金さん お孫さんが遊びに来やすいようトイレを改装したという話もありますし、お孫さんと気軽に話せるなど高齢者ならではのメリットにも、島OSで対応できるようにしたいとも考えています。

内閣府 確かにそうすると使えるようになりたいと考えてくれそうです。ユーザーのニーズをとらえるのは大事ですね。

内間さん 私たちはスマート化でお金を儲けたいわけではありません。久高島が「自立」して生活できるようにしたいのです。そのためにスマート化の取組を続けていきたいと考えています。

内閣府 簡単なことではないと思いますが、ぜひ続けていっていただきたいです。

## 未来への投資



久高島の全景。久高島観光交流サイトでは、「シマ時間」の楽しみ方が提案されている。  
参考：<https://kudaka-island.com/guide>

内閣府 今後はどのような取組を考えておられますか？

内間さん 車のシェアサービスですね。車を2台持っている島民が多いのですが、シェアしたほうが個人の負担が小さくできると考えています。また自動運転にも興味があります。レベル4といったものでなく、島ならではの技術ができるといいですね。実証試験を検討中の企業の方はぜひ久高島で！

金さん 弊社も投資のつもりで実証に関わっています。沖縄にハマってしまったので、他の離島にも横展開して貢献していきたいです。

西銘さん 多くのお客さまにお越しいただいています。日帰りの方が多くぜひ宿泊もご検討ください。お待ちしております。

内閣府 どうもありがとうございました！

(編集後記) お話をうかがって「自立」というビジョンをお持ちと知り感銘を受けました。スマートシティという近未来的な印象をもつ方が多いと思いますが、このような、その地域の特色を生かしつつIT技術でウェルビーイング向上を目指す「スマートローカル」の取組もスマートシティ施策の1つです。同様の課題を持つ自治体への横展開を期待します。ちなみにマクワウリはとても爽やかな香りだそうです。久高島産のマクワウリが販売されるようになったらぜひとも食べてみたいですね。(終)